



平成27年 1月26日

学校だより 第11号  
苫小牧市立苫小牧東小学校

# 太陽の子

ホームページURL <<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/tomahigashi-es/index.html>>

## 東小の教育目標

### 東小の子は太陽の子

- 進んで学ぶ かがやく子
- 思いやりある あたたかい子
- 心身ともに健康な 明るい子

## 「夢や目標」を持って

校長 寺田 洋子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年度も、保護者や地域の皆様の学校への温かな支援とご協力をいただき、家庭や地域との強い連携の中で、子どもたちは健やかに育てております。いよいよ、3学期を迎え、各学年とも締めくくりの段階に入りました。



この節目のなかで、「今年こそは」と、新しい年の夢を描いたり、目標を立てている子どもたちです。夢や目標は、1年生にとっても、卒業を前にした6年生においても、その後の成長に重要な役割を果たします。特に3学期は、1年間の総まとめの時期として、次の年度に確かにつなげる力を育てることを大切にして、教職員一同でリードしてまいります。

19日には、家族とお正月を過ごしたことや、ふだんできないことに挑戦した思い出をいっぱい胸に秘め、ひとまわり大きくなった子どもたちと再会しました。また、始業式では全校児童の代表として6年生の近藤さんが冬休みの思い出について作文を読んでもくれました。規則正しい生活を送ることで毎日を有意義に過ごす事ができたことやお姉さんと旅行に行った経験など冬休みを楽しく過ごした様子が伝わりました。また、児童会代表の小玉さんは、最高学年の6年生として、3学期の学校生活における抱負を発表し、心強く感じました。本当に3学期は早く過ぎていきます。一人一人が大きくはばたく春に向けて、高まっていける苫東小の子でいてほしいと心から祈ります。

過日「全校道徳」では、大澤ちほさんにゲストティーチャーとして、本校へおいでいただき「オリンピックを目指し夢」を持ち続けることの大切さを学びました。子どもたちにとって本校の卒業生である大澤さんの姿から多くのことを学ぶ機会となりました。



## 羊年 におもう

今年、十二支の中で8番目に数えられる未(ひつじ)年です。漢字の「養(やしなう)」という字や「美(うつくしい)」という字は、羊に由来するものです。

中国では、古代から羊肉は重要な栄養源であったため、「羊+食」を合わせて「養」という字ができました。

また、ヒツジの姿は優しく堂々としているというので、「羊+大(りっぱ)」を合わせて、「美」という字ができました。未年の今年、学校生活を通じて心や体の栄養を十分に吸収し、優しく立派な人間を目指していきたいです。



学校では、本年度の教育活動について反省を行い、次年度へつないでいく時期を迎えています。12月に実施いたしました保護者の方々からのアンケートやご意見の中には、温かなご支援の声やまた、厳しいご指摘もいただいております。

来年度の教育活動に反映できるよう検討し話し合いを進めて参ります。